

著者プロフィール



◆ 岡部信彦：川崎市健康安全研究所長

1971年、東京慈恵会医科大学卒業。東京慈恵会医科大学、帝京大学、Vanderbilt大学などで小児科学、感染症学。国立小児病院感染科、WHO 伝染病予防対策課、東京慈恵会医科大学小児科助教授などを経て、2000年、国立感染症研究所感染症情報センター長。2012年、川崎市衛生研究所長。2013年より現職。

専門領域：感染症学、感染症疫学、小児科学



◆ 古宮伸洋：日本赤十字社和歌山医療センター感染症内科部

2000年、北海道大学医学部卒業。兵庫県民生医療連合、東京都立墨東病院などを経て、2012年より現職。

専門領域：感染症、国際医療救援



◆ 中山哲夫：北里生命科学研究所

1976年、慶応義塾大学医学部卒業。卒業後研修、1978年、東京都済生会中央病院小児科。42歳で一念発起し、1992年、北里研究所入所。臨床ウイルス・ワクチンの基礎研究に従事。2015年の定年退職後も特任教授として研究生活を続けている。



◆ 中島一敏：大東文化大学スポーツ・健康科学部健康科学科教授

1990年、琉球大学医学部卒。沖縄県立中部病院研修医、琉球大学第一内科、大分大学医学部微生物学講座助手、国立感染症研究所 FETP、同感染症情報センター主任研究官、WHO 本部医務官、東北大学病院講師兼検査部副部长を経て、2016年4月より現職。

専門領域：感染症危機管理、感染症疫学



◆ 森 雅亮：東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科生涯免疫疫難病学講座教授

1988年、三重大学医学部医学科卒業。1990年、横浜市立大学小児科入局。1995～1998年、米国シンシナティイ大学医学部内科免疫学留学。2005年、横浜市立大学小児科准教授。2008年、同大学センター病院小児総合医療センター准教授。2015年、東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科薬害監視学講座教授。2016年より現職。

専門領域：小児リウマチ・膠原病、小児感染症、川崎病



◆ 薨 知光：雪の聖母会聖マリア病院臨床・教育・研究本部長

1984年、久留米大学医学部卒業。同年、同大学第1外科入局。1990年、同大学病院小児外科助手。1998年、同大学小児外科講師。2004年、雪の聖母会聖マリア病院小児外科診療部長。2015年より現職。

専門領域：小児外科学、臨床代謝栄養学、小児救急医学



◆ 齋藤昭彦：新潟大学大学院医歯学総合研究科小児科学分野教授

1991年、新潟大学医学部卒業。聖路加国際病院小児科で研修後、渡米。1995～2008年、米国での小児科と小児感染症の臨床トレーニングを終了。2004年よりカリフォルニア大学サンディエゴ校小児感染症科助教授、指導医として臨床・研究に従事。2008年から国立成育医療研究センター感染症科医長、2011年より現職。日本人として初の米国小児科学会認定の小児感染症専門医。

専門領域：小児感染症の診断と治療、ウイルスの迅速診断、予防接種、ヒトパレコウイルス感染症、小児 HIV 感染症など